



○「最初のフォロワー」

「ファーストペンギン」というテレビドラマが昨年秋に放映されました。主人公のモデルとなったのが坪内知佳さん。公式HPには、「2010年、漁業者たちと前例のなかった水産業の6次産業化による水産会社を立ち上げ、代表に就任しました。以来、自然との共存を目指して、海にまつわる活動をしています。」との自己紹介があります。農林水産省のHPによると、6次産業とは、農林漁業者（1次産業）が、農産物などの生産物の元々持っている価値をさらに高め、それにより、農林漁業者の所得（収入）を向上していくことです。6次産業という言葉の6は、農林漁業本来の1次産業だけでなく、2次産業（工業・製造業）・3次産業（販売業・サービス業）を取り込むことから、「1次産業の1」×「2次産業の2」×「3次産業の3」のかけ算の6を意味しているそうです。



「ファーストペンギン」とは、魚を求め、天敵がいるかもしれない海に群れの中から最初に飛び込むペンギンのことで、リスクを恐れず挑戦意欲が高い人のことを指す言葉として使われています。一方で、「セカンドペンギン」が大事だとする考えもあります。

「フォロワー」は、SNSの投稿を見られるように登録した人としてよく使われる言葉です。フォロワーに置き換えると、セカンドペンギンとは、最初のフォロワーとも言える存在です。

あたりまえのことですが、SNSでどんな発信や投稿をしても、最初のフォロワーがいなければ、フォロワーが増えて行くことはありません。新規にオープンする飲食店の開店前。1人しか並んでいないと関心は向きませんが、2人いると気になり出して並んでしまうことがあります。

演奏の終わりに誰か一人が拍手したとして、周囲の誰一人として追随して拍手しなかったらその人は変な人で終わってしまいます。でも2人目が拍手したら喝采に変わっていきます。何事もそうですが、2人目がいないとムーブメントは起こらず、1人目は「ただの人」「変な人」で終わることにもなりかねません。その1人目・2人目を意図的に仕込むのがサクラです。

これからの社会で必要な力の一つに「巻き込む力」があると思っています。リーダーとは、人を引っ張っていく人というのが多くの人々のイメージだと思います。しかし、リーダーについて行く勇気を持ち、他の仲間にリーダーの考えを伝えていく役割の人がいるかどうかでも大事だと思っています。巻き込む力を発揮するには、最初のフォロワーがいるかどうかにかかっています。

総体が終わり、いろんな部活動で新しいキャプテンや副キャプテンが決まったと思います。監督の考えを伝えるキャプテン、キャプテンの考えを支える副キャプテンがセカンドペンギンかもしれません。それぞれに与えられた役割の意味をしっかりと考えてもらいたいと思っています。